

お客さまの安全・安心を守る

Osaka Metroでは、人と設備の両面からお客さまの安全・安心を守っています。

全駅への可動式ホーム柵設置を更に推進

お客さまの線路への転落を防ぐための可動式ホーム柵を設けており、引き続き整備拡充に努めています。

2021年9月時点で、御堂筋線14駅、谷町線1駅、千日前線全14駅、堺筋線1駅、長堀鶴見緑地線全17駅、今里筋線全11駅、南港ポートタウン線全10駅にて設置が完了しています。

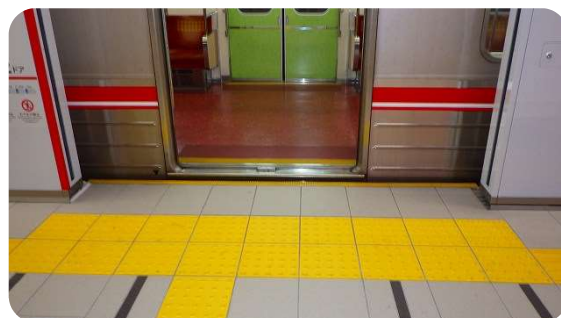
2021年度中には御堂筋線の残り6駅と四つ橋線の西梅田駅と大国町駅に設置予定です。

また、可動式ホーム柵設置にあわせて、ホームと列車の段差と隙間を解消するバリアフリー対策工事を進めており、車椅子ご利用者の自力乗降が可能になったほか、ベビーカーや大型のキャリーバックを持った利用者など、多くのお客さまの乗降の利便性を向上させております。

可動式ホーム柵の整備スケジュール

御堂筋線	全20駅で、2021年度までに完了
谷町線	全26駅で、2025年度までに完了
四つ橋線	全11駅で、2024年度までに完了
中央線	全14駅で、2024年度までに完了
堺筋線	全10駅で、2022年度までに完了
千日前線	全14駅
長堀鶴見緑地線	全17駅
今里筋線	全11駅
南港 ポートタウン線	全10駅

全駅で既に設置済



可動式ホーム柵、段差隙間解消（新大阪駅）

2020年度の鉄道事故等の発生状況

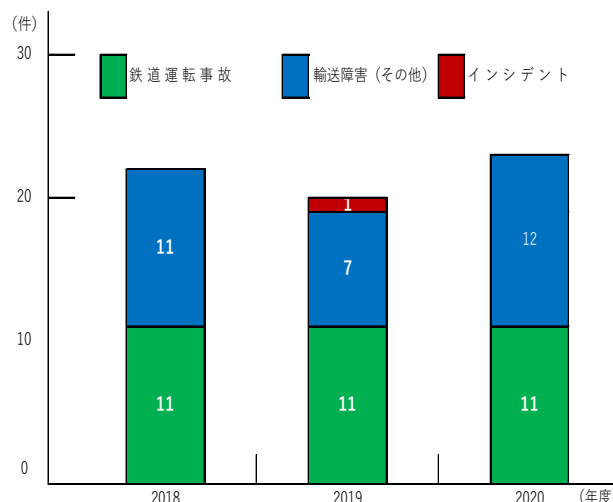
2020年度には鉄道事故等が23件発生しました。

その内訳は、

- ・鉄道運転事故(線路内立入りや列車接触など)が11件
- ・輸送障害が12件でした。

鉄道事故等の原因は様々ですが、お客さまに安心してご利用いただけるよう、毎月開催する安全委員会(事故の芽情報会)において、一つひとつの事象について原因を究明し、対策を立て、再発防止に取り組んでいます。

鉄道事故発生件数の推移



お客さまの安全・安心を守る

御堂筋線梅田駅構内におけるホーム端部接触事象について

地下鉄御堂筋線梅田駅において、ホームと列車の隙間解消のためにホーム縁端部に設置した『くし状ゴム』に、列車が接触するという重大事象を発生させました。幸いにもお客さまの負傷は無かったものの、その復旧に約5時間要し多大なるご迷惑をおかけし、安全・安心に対するお客さまの信頼を失う重大な事象であり、輸送の安全を第一とする鉄道事業者として、重く受け止めなければならない事象であります。

そのため、社内に「安全対策工事部会」を立ち上げ、設計開始から事象発生までを振り返り、事実関係の整理を行いました。その上で、各々の事実について背景を含め課題を抽出・分類し、審議を重ね、再発防止対策を策定しました。

本事象を重要な教訓として、二度とこのような重大事象を起こさない信念のもと、「安全は全てに優先する」という基本原則に立ち返り、お客さまにより一層安心してご利用いただける輸送機関となるよう全力を挙げて取り組んで参ります。

1 発生状況について

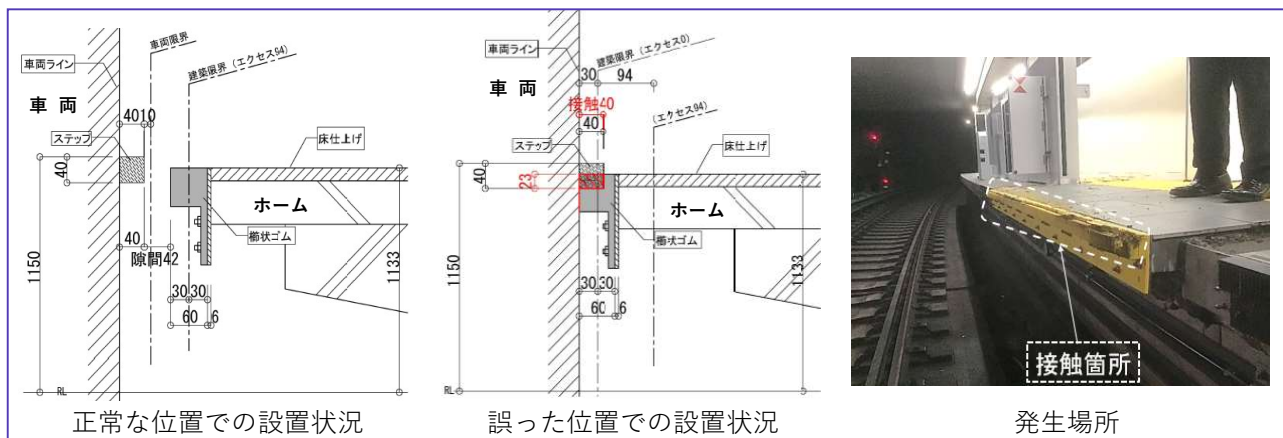
発生日時：2021年6月10日（木）5時57分頃

発生場所：御堂筋線梅田駅上りホーム部10-4扉付近（先頭車両）

状況：○なかもず発千里中央行の列車の運転士が、梅田駅を出発時に車両動揺及び異音を認知し、非常ブレーキを投入し緊急停止させた。

○調査の結果、ホームと列車の隙間解消のため、前夜に請負工事業者が設置した『くし状ゴム』が、列車に接触したことが判明した。

○6時45分から「なんば駅～なかもず駅」間、7時17分から「千里中央駅～新大阪駅」間で折り返し運転を実施したが、当該物の撤去、仮設鉄板の取り付け等の復旧作業のため、「新大阪駅～なんば駅」間で約5時間運行を停止し、11時15分に全線の運転を再開した。



2 直接原因について

曲線部において、『くし状ゴム』の取付位置を補正するデータであるエクセス値に誤りがあり、本来設置すべき位置より約9cm車両に近い位置に設置した。

エクセス値とは

線路は連続して湾曲しているが、車両は四角い形状をしているため、曲線部においては車両とホームの間隔は、走行に合わせて変動する。そのため、設備の取付位置の限界を、直線部の限界から補正する必要がある、この補正值のことを弊社ではエクセス値と呼んでいる。

3 主な再発防止対策について

- ①：エクセス値を含め、設計に関連する重要な値を、組織的に管理する体制を構築
- ②：詳細な施工図の作成を行うとともに、受注者との施工前確認を徹底

電車の安全対策



① 非常通報装置

車内での異常を乗務員に知らせるための装置で、各車両の前後（ニュートラムは各乗降扉横）に設置しています。



② 車内防犯カメラの設置

安心して地下鉄・ニュートラムをご利用いただくため、車内防犯カメラを720台設置しています。（2021年3月末時点）



③ 消火器

車両の火災等に備え、各車両に消火器を1個設置しています。

④ 車椅子（ベビーカー）スペース

車椅子やベビーカーをご利用のお客さまに安心してご利用いただくスペースで、固定用の金具付きロープを設けています。



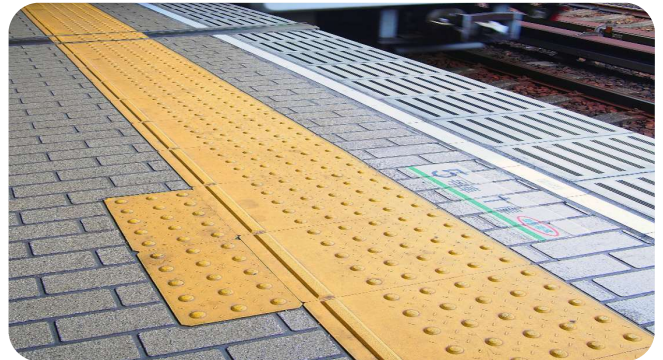
⑤ 非常はしご

駅間に電車が停止して、その後の運転ができなくなった時に電車の先頭部から線路に降りていただくための設備です。（弊社では線路のほとんどがトンネル構造のため、電車の先頭からの避難を原則としています。避難の際には乗務員・駅社員の指示に従って頂きますようお願い致します。）



お客様の安全・安心を守る

駅の安全対策



① 非常停止合図装置

お客様が線路に転落したときなどに、電車を直ちに停止させるための設備を設けています。

② 内方線付き点状ブロック

ホームの内側に線状の突起を設け、ホームの安全側を示す点状ブロックを設置しています。



③ 防煙垂壁・防火シャッター

ホームでの火災発生時に煙の流動を防ぎ、お客様の避難経路を確保するための設備です。



④ 防災盤・火災報知器・消火栓

駅構内の防災設備等を集中管理するために、駅長室内に防災盤を設置しています。火災の発生を駅長室に自動的に通報する感知器と消火に使う消火栓及び消火器を駅構内各所に設置しています。



⑤ 誘導灯

誘導灯には①避難口誘導灯と②通路誘導灯があります。③フラッシュライトが併設されているものもあり、フラッシュライトが点滅し、お客さまが駅構内から安全な場所へ避難しやすくなっています。



⑥ IP無線での迅速な情報連携

複雑な地下空間での迅速な連絡体制を整え、お客さまサポート及び見守り体制を強化するため、全駅長室・全改札口にIP無線を配備しています。



⑦ 駅構内防犯カメラの設置

安心して地下鉄・ニュートラムをご利用いただくため、駅構内に3,077台の防犯カメラを設置しています。(2021年3月末時点)



⑧ ゴミ箱の透明化

テロに対する抑止力を高めるため、全ての駅のゴミ箱を透明化にし、改札口付近に設置しています。



⑨ ホームベンチ

お客さまがベンチから立ち上がった際、そのまま直進し、軌道へ転落するのを防ぐため、ベンチの設置向きを順次変更しています。2020年度には、1～4人掛けのホームベンチを298脚設置しました。



⑩ AED（自動体外式除細動器）の設置

地下鉄をご利用いただくお客さまの救命率向上を図るため、全駅にAEDを設置しています。

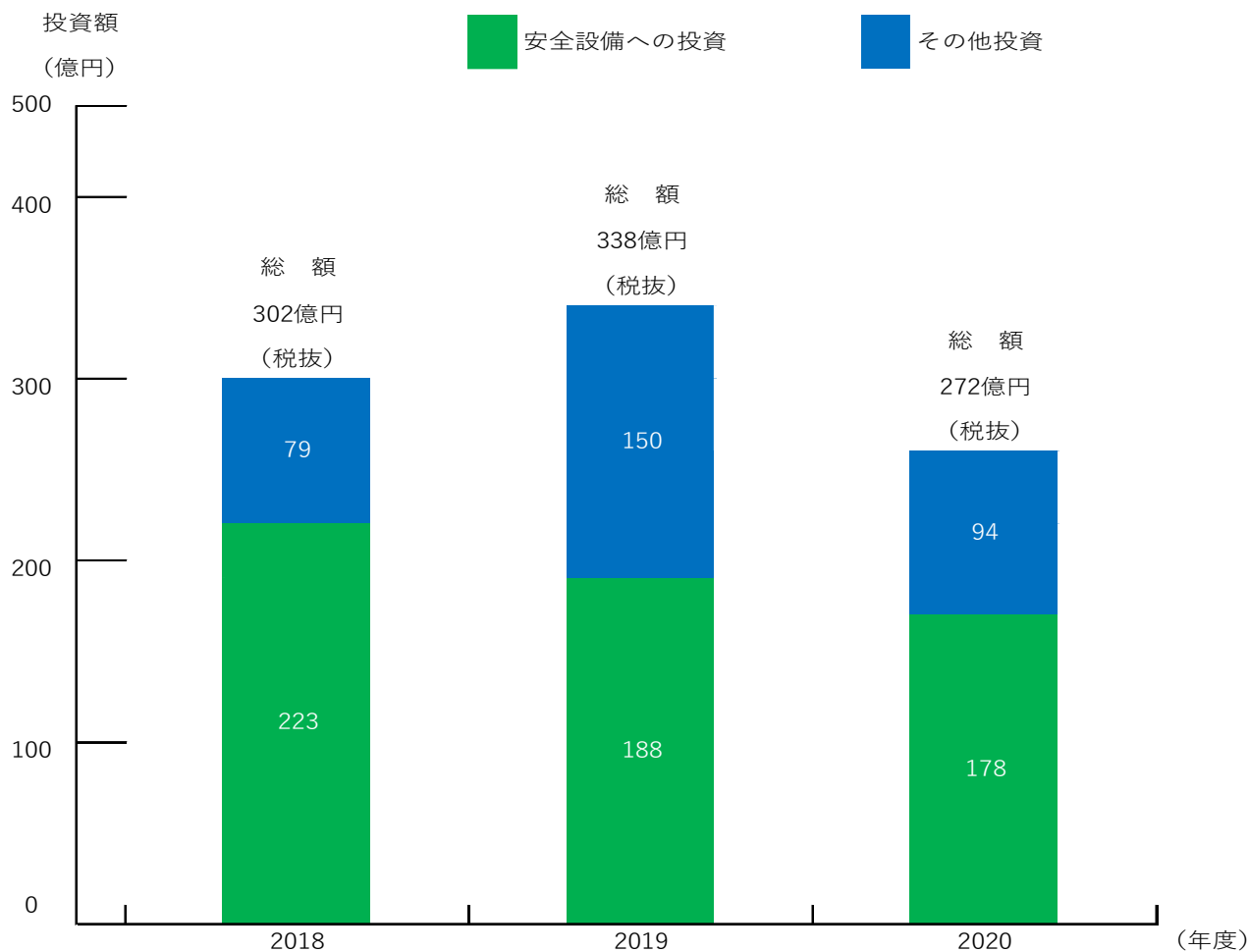
お客さまの安全・安心を守る

車両・施設の安全対策

Osaka Metroでは、以下のとおり、計画的に老朽設備取替、保安・防災対策、安定輸送対策、車両更新等、安全設備への投資を実施しています。

2020年度は、コロナ禍で乗車人員が大幅に減少し非常に厳しい状況ですが、必要な安全関連投資を着実に実施しています。

安全設備への投資及びその他投資の推移（過去3年間）



Osaka Metroの投資の内訳

- 安全設備への投資
 - ① 老朽設備取替 信号・電力・変電設備更新、車両検修施設機器更新、駅施設老朽更新等
 - ② 保安・防災対策 可動式ホーム柵設置、防犯カメラ増設、火災対策 駅天井及び壁改修、高架・地下構造物耐震補強及び長寿命化等
 - ③ 安定輸送対策 軌道改良、変電所改良等
 - ④ 車両・その他 車両更新・中間更新改造、地上建物改修、研修施設整備等
- その他投資 駅務機器更新、EV・ES設置、駅グランドリニューアル、トイレリニューアル、新規事業開発等

新型コロナウイルス感染防止対策

駅構内や車内の感染防止対策

- ① 次の各施設にお客さま用のアルコール消毒液を設置
 - ・全駅の改札口（237箇所）、お忘れものセンター、Osaka Metro案内カウンター、定期券発売所（14箇所）
- ② 次の各施設の消毒作業を毎日実施
 - ・駅（133駅）、車内（1,364両※）、お忘れものセンター、Osaka Metro案内カウンター、定期券発売所（14箇所）
- ③ 車両の消毒作業及び感染防止対策
 - ・車内（1,364両※）
 - ※保有車両の内、入庫車両に対し車内消毒を実施
 - ・全車両において抗菌・抗ウイルス効果のある空気触媒施工を実施中
- ④ 啓発放送を実施（駅・車内）
 - ・テレワークや時差通勤へのご協力
 - ・手洗い、うがい、アルコール消毒、咳エチケット、マスクの着用、車内での会話を控えていただく等の感染予防対策へのご協力
- ⑤ 地下鉄での感染拡大防止対策
 - ・全路線（ニュートラムを除く）で、換気のため1車両につき両端2か所の窓を開けて運行
 - ・駅トイレに設置しているハンドドライヤー（ジェットタオル）の使用を停止
 - ・定期券発売所の対策
 - ア、通路床面に待機位置を表示し、お客さま同士の間隔を十分にとってお並びいただけるようご案内
 - イ、梅田、なんば、天王寺のPiTaPaカウンター窓口透明のシートを設置
 - ・駅改札口の窓口に透明のシートを設置

社員の感染防止対策

- ・職域接種の実施（Osaka Metro Group 社員（派遣社員含む）のうち接種を希望する者）（2021年7月1日（木）～8月12日（木）までで実施し2回目の接種が完了）
- ・うがい、手洗い、咳エチケットの励行、マスクの適切な着用
- ・本社・各事業所へ手指消毒用アルコール設置
- ・輸送指令所及び電気指令所において空気清浄器を設置
- ・本社勤務社員の時差出勤及び在宅勤務の実施

